





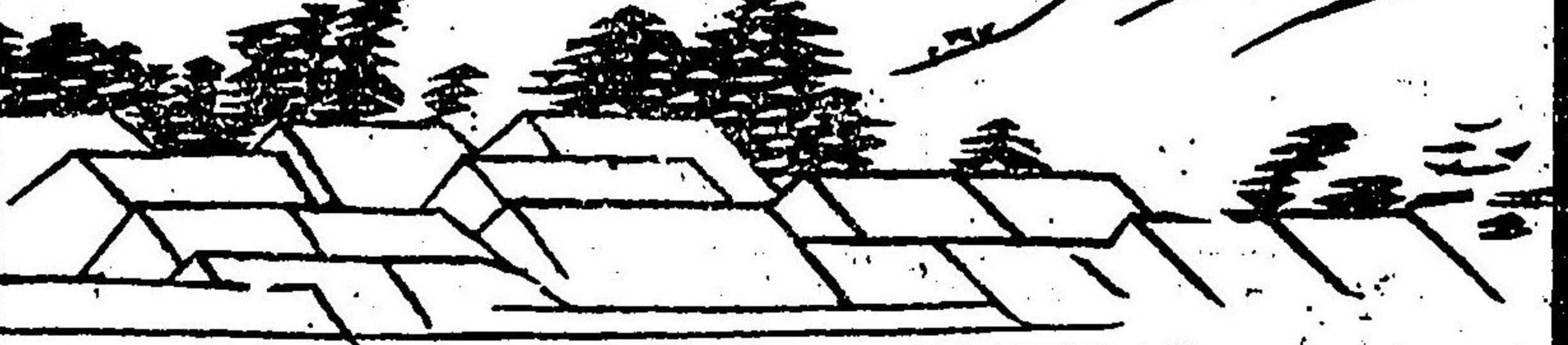




源八郎と云ふは、源八郎の刀を、おぼしめし、  
 遠く那方へ、おぼしめし、おぼしめし、  
 と、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、  
 の、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、  
 換、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、  
 おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、

源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、

源八郎と云ふは、源八郎の刀を、おぼしめし、  
 遠く那方へ、おぼしめし、おぼしめし、  
 と、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、  
 の、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、  
 換、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、  
 おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、おぼしめし、



源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、  
 源八郎の、おぼしめし、おぼしめし、

五月十五日八幡宮  
 祭りの夜例とて毎年  
 教へ侍居るお生駒  
 中じいさまが公定書の日と持おる  
 五月十五日八幡宮  
 祭りの夜例とて毎年  
 教へ侍居るお生駒  
 中じいさまが公定書の日と持おる



存るが一人の明友り田舎おぬ  
 又尺由と係八つに向ふ  
 ありとよるお生駒へのし  
 くるお八つ夜例とて毎年  
 る手の中係八つ巻物と  
 しをむすの好歌を  
 八つ中に係八つ巻  
 及傳りて今  
 日盛合心えとあ  
 きか陣ゆき



田舎お  
 ありとよる  
 くるお八つ  
 る手の中係  
 しをむすの  
 八つ中に係  
 及傳りて今  
 日盛合心え  
 きか陣ゆき

田舎の女  
 女はうしろしめして  
 来て助とておし  
 由らごころを  
 子上の大者おけ  
 女礼をおちめと後  
 付お切付るまこと  
 ちまろをして  
 大者お礼おせし  
 女先生し  
 女宵あとも後  
 目あて境内まこと  
 このころあまのこ



田舎の女  
 女はうしろしめして  
 来て助とておし  
 由らごころを  
 子上の大者おけ  
 女礼をおちめと後  
 付お切付るまこと

玉づくね  
 女先生



源  
 女先生  
 女宵あとも後  
 目あて境内まこと  
 このころあまのこ



まほしき  
ありとこ  
と成るる  
ひさしとせを  
上あつうり  
まふあす

血收合て働き  
あはじまじし  
さあざんり  
て救るん  
手候とらじ  
まきけし



くゆい  
ことほどき  
如侍を田宮の  
く秘えし  
いじが  
右刀先  
さあき  
入るる  
ハ  
ッ  
かんさく

あふ  
あ合  
田宮の  
運の  
かん  
切と  
さんとおし  
きと  
救る



【巻】より 巻の... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...

ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...

※ ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...

ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...



ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...

ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...  
 ちたて... ちたて...





あつしんおー  
あつしんおー  
あつしんおー  
あつしんおー

田



あつしんおー  
あつしんおー  
あつしんおー  
あつしんおー

あつしんおー  
あつしんおー

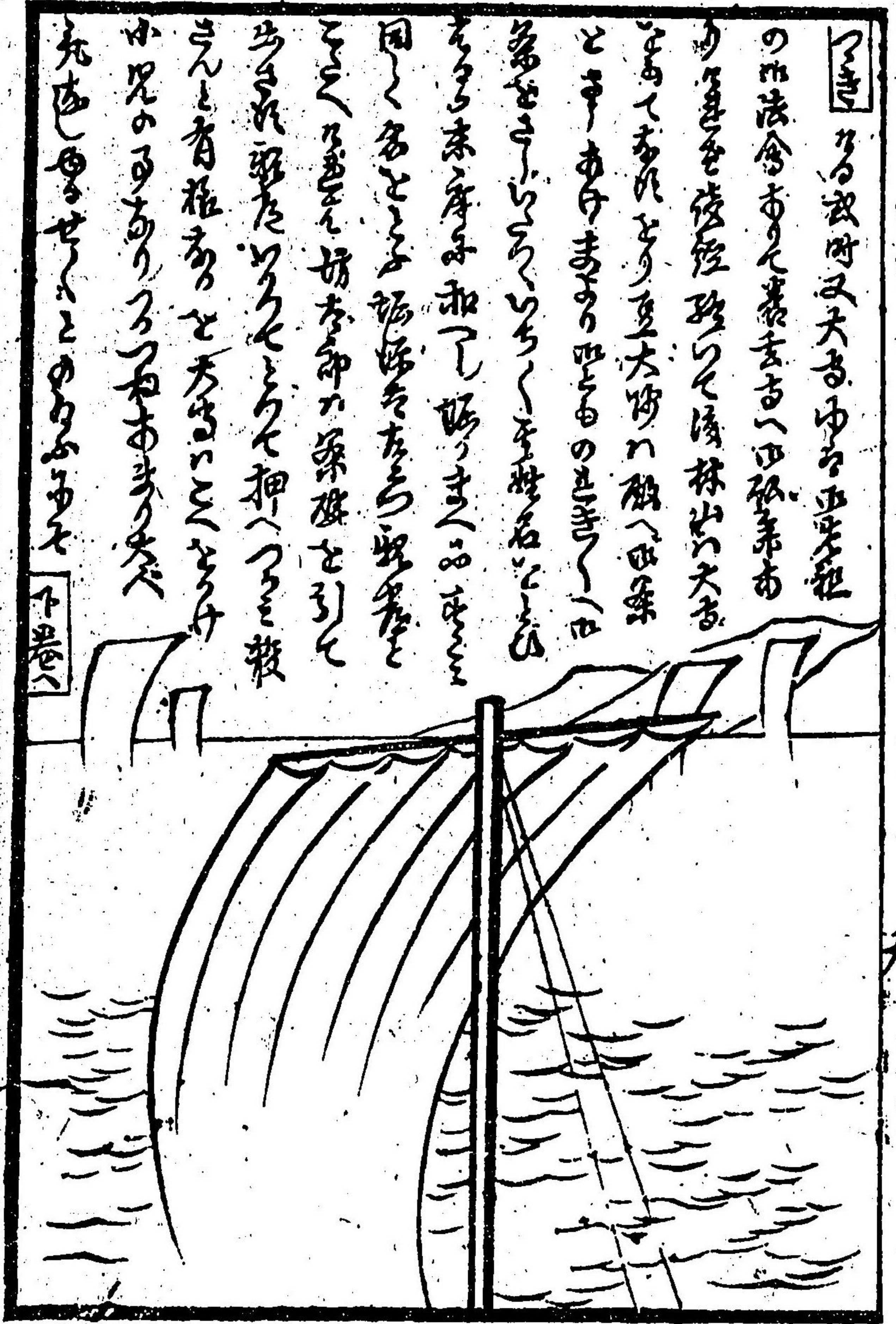


どの呉え  
 とあふん  
 んとま  
 のあふ  
 とま  
 は  
 る  
 に  
 だ  
 と  
 の  
 の  
 の  
 の



本しを  
 門  
 と  
 仕  
 て  
 年  
 女  
 山

と  
 子  
 お  
 かん  
 かん  
 かん  
 かん

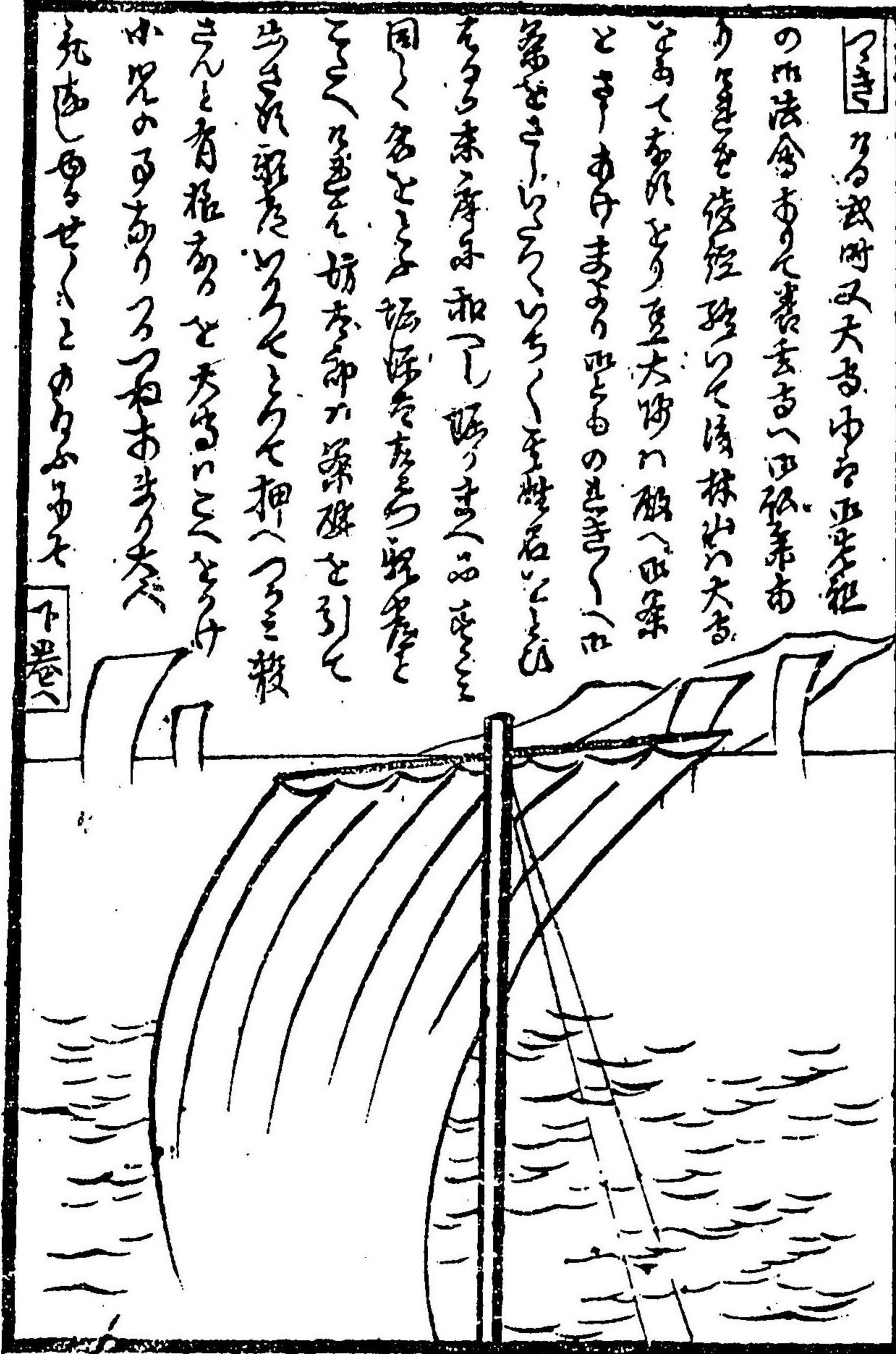


つぎ たる 政 財 又 大 方 中 山 等 租  
 の 出 法 金 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 の 出 法 金 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり  
 といふ 大 方 中 山 等 租 あり なる 養 去 古 へ 田 租 米 あり

十巻八

明治十年一月一日御届

日本橋區  
 龜井町廿番地  
 澤久次郎



しき たる武野又大木ゆらゆらと  
 の中法念ありて暮きよは四夜集あり  
 りる夜を徒然抄のうけ林山の大家  
 といふくありきより大木ゆらゆら  
 とありてあまのそとむののそとむ  
 ながさくしりりしりしりしりしり  
 そらとそらとそらとそらとそらとそらと  
 同く名とそらとそらとそらとそらと  
 こころのそらとそらとそらとそらと  
 そらとそらとそらとそらとそらと  
 さんとうそらとそらとそらとそらと  
 かたのそらとそらとそらとそらと  
 九段のそらとそらとそらとそらと

下巻

明治十年一月一日御届

日本鶴區

龜井町廿番地

澤久次郎

